

やまぐち

患者さまと病院をつなぐ広報誌
2013 Spring

●健康シリーズ 未然に防げる脳卒中

●部門紹介【放射線科】

●PICK UP【CPAP治療】



スタッフのご紹介

近藤鈴江 臨床検査技師

長く臨床検査技師をしており、経験を活かして検査に取り組んでいます。病棟と外来を担当しているので、携わる患者さまは多くいらっしゃいますが、お一人おひとりを大切に、家族を思うような気持ちで接してたいですね。(2012年9月入職)



田中知代 看護師 (病棟)

入職してまだ日も浅いですが、活気のある明るい職場で頑張っています。患者さまが元気に退院されることが大切なので、入院中はしっかりサポートしていきたいと思ひます。何かあれば、お声をかけてください。(2012年11月入職)



畠山智子 看護師 (病棟)

前職では外来担当でしたが、当院では病棟を担当しています。大変なこともあります、スタッフ同士で声を掛け合う明るい職場です。早く仕事を覚えて、スタッフの一員として力になりたいと思ひます。(2012年9月入職)

数字で知るやまぐち

3,956件 さて、この数字は
なんでしょう？



正解は… 「CT・MRIの検査件数」

平成23年1月から12月までの、CT・MRIの検査件数は3,956件。

この内CT・MRIともに検査数が最も多かったのが「頭部」です。CTは968件、MRIは707件となっています。この他、CTでは「腹部」「胸部」の検査が多く、MRIは「腰椎」「頸椎」と続いています。

CT	頭部968件	腹部454件	胸部332件	その他91件	1845件	
MRI	頭部707件	腰椎689件	頸椎312件	膝240件	その他163件	2111件

今号の表紙

場所：茶臼山高原 (愛知県北設楽郡)

愛知県で最も標高の高い茶臼山高原。四季を通じて自然を満喫できます。なかでも開花時期に合わせて公開される「芝桜の丘」は、ピンク、青、白など6種の芝桜を楽しむことができます。見頃は5月下旬から6月中旬頃です。



理念 家族を想う気持ちを大切にしたい

基本方針

1. 患者さま本位の医療

…患者さまに対して家族や大切な人を想う気持ちを持って接するよう心がけます。

2. 地域への貢献

…24時間体制で地域住民に対して安心できる医療を提供できるよう努力します。

3. 向上心と信頼関係

…私たち職員は、常に向上心を持ち、お互いに尊敬し、信頼できる関係でありたいと思ひます。

■診療科目

一般診療 整形外科、消化器科、外科、内科、脳神経外科、リウマチ科、リハビリテーション科、皮膚泌尿器科、肛門科、放射線科、麻酔科

特殊診療 CPAP (睡眠時無呼吸症候群治療)、AGA (男性型脱毛症) 在宅酸素療法、禁煙治療、ED (勃起障害治療)

■診療日

	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	×
午後 4:00~ 6:00	●	●	●	●	●	×	×

休診日/日曜日・祝日・土曜日午後 ※救急・ケガ等の場合はいつでも診療いたします (24時間体制)

医療法人 山和会 山口病院

〒457-0836 名古屋市南区加福本通3-28

TEL 052-611-6561 (代) FAX 052-613-0333

名鉄：「大江駅」下車、南へ150m

市バス：新瑞橋13系統(左回り)/新瑞橋14系統「港東通」下車 神宮15系統「大江駅前」下車

日本医療機能評価機構認定病院

当院では、医療の質向上の取り組みとして、財団法人日本医療機能評価機構による審査を受け、平成22年4月2日付で認定されました。



<http://www.yamaguchi-hp.jp>

ケータイ・スマートフォンサイトもご覧ください



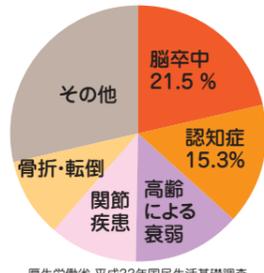


早期に発見できれば、未然に防げる脳卒中

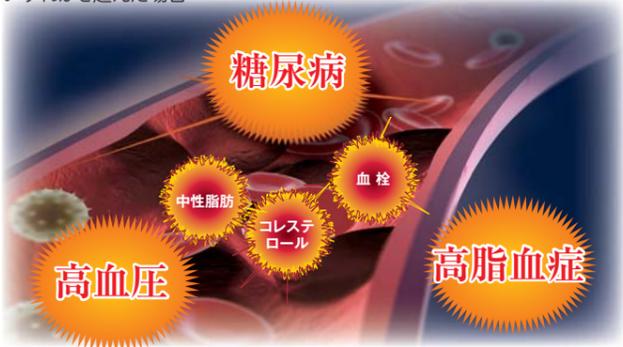
寝たきりの原因の多くは脳卒中

厚生労働省の調べによると、「要介護者」の原因で最も多いのは「脳血管疾患(脳卒中)」で、全体の21.5%(約5人に1人)を占めています。生涯健康で元気に暮らすには、脳卒中を未然に防ぐことも大切といえるでしょう。脳卒中を予防するために重要なのが「高血圧」「高脂血症」「高血糖」の治療です。これらを放置しておくと、発症のリスクは高くなります。なかでも高血圧の人は、正常値の人と比べ、脳卒中のリスクが2倍にはね上がるといわれます。*

【要介護の原因】



*上の血圧(収縮血圧)160mmHg、下の血圧(拡張血圧)90mmHg、いずれかを超えた場合



脳だけでなく、首の動脈もチェック



「高血圧」「高脂血症」「高血糖」は、全身に作用するので、脳の血管だけ診ていけば良いわけではありません。

早期発見のひとつとして、山口病院で積極的に取り入れているのが首の動脈を検査する「頸動脈エコー」です。頸動脈は人差し指ほどの太さがありますが、コレステロールの塊ができると血管が細くなっていき、放っておくと血管がふさがったり、塊の一部がはがれ脳の血管をつまらせることも…。

「頸動脈エコー」は、大掛かりの機器を使うMRIやCTと比べ、ゼリーを首に塗るだけで気軽に検査できるのも魅力です。

毎日血圧を測り、手帳に記録する

血液検査や精密検査で異常が早期に見つければ、手術まで至らず、薬だけでコントロールすることができます。その場合、処方された薬を毎日きちんと服用するのは、とても大切です。「飲むと具合が悪くなるから」と勝手にやめたりせず、必ず処方した医師に相談しましょう。

また、上の血圧が140~150mmHgという「高血圧予備軍」の人は、家で血圧を毎日測る習慣をつけましょう。日々の変動が分かるだけでなく、「早朝高血圧」など病院では発見できない症状に気づくこともあります。さらに、血圧を測った後は手帳に記録しましょう。血圧への意識づけにもなり、自分でできる一番の脳卒中の予防法といえます。



ドクターからのメッセージ



森田 功

脳神経外科、脳卒中、救急科の3つの分野で専門医に認定。当院では毎週木曜日、診療と病棟の回診を行っている。

全身の状態をチェックし 早期発見、早期治療を

当院の脳神経外科では、脳梗塞の予防に力を入れています。その3本柱が「高血圧」「高脂血症」「高血糖」の治療で、その有効性であることは、多くの研究でも明らかです。

また、脳より心臓に近い頸動脈を調べる「頸動脈エコー」の有効性が高いことも分かっています。このように全身の状態を診ながら、できるだけ症状を早く発見し、早く治療を始めることが重要です。

今回は【認知症】を取り上げます

部門紹介 第5回【放射線科】

●安心して検査を受けていただくために

一般撮影(レントゲン)、CT、MRI装置での検査が主な業務です。他にも、骨粗しょう症の診断をする骨塩定量測定検査も行っています。当科は現在、診療放射線技師2名、補助スタッフ1名です。現在の装置はデジタル技術の進歩に伴い少量のX線量で鮮明な画像を提供できるようになってきています。また、放射線被曝防護の観点から防護エプロンも複数準備しておりますので、小さなお子さんにも安心してX線検査を受けていただけます。



当科の理念である「思いやりの心」を持ちこれからも、検査を受けられる患者さまへの心と身体の負担を、できる限り軽減できるよう努めてまいります。



技師長 脇田 郁郎



救急指定病院でもある当院は、チーム医療が求められるので、他の部署も含めたコミュニケーションを大切にしています。検査においては、患者さまの状態を分かりやすく医師に伝えるために、角度を調節するなど、より精密な撮影を心掛けています。検査機器も技術が進歩し、従来より短時間で検査が可能となっています。検査が苦手な方でも安心して受けてください。

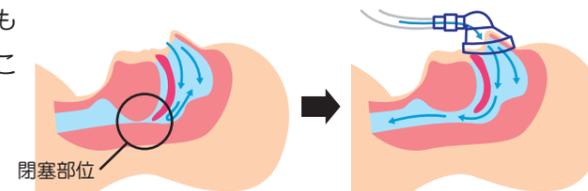
今回は【検査科】を紹介します

PICK UP! 特殊治療

睡眠時の呼吸を正常に戻す CPAP治療

約200万人の患者がいるとされる睡眠時無呼吸症候群。睡眠中、1時間に10秒以上の呼吸停止が5回以上ある症状をいいます。主な原因は肥満で、脂肪によって上気道が塞がれ呼吸が停止します。高血圧や脳血管障害などを合併していることも多いので、早期治療が求められます。

睡眠時無呼吸症候群はCPAP治療(経鼻的持続陽圧呼吸療法)で症状を改善します。睡眠中に鼻マスクを着用し、圧力を加えた空気を送り、気道が塞がるのを防ぎます。一晩で症状が改善する人もいますが、あくまでも対症療法なので、原因の改善はできません。食事療法や運動療法も取り入れ、肥満を解消していくことが大切です。



こんな症状はありませんか?

- 睡眠時
 - ・いびきをかく
 - ・息が止まる
 - ・息苦しくて目が覚めるなど



- 日中
 - ・しばしば居眠りをする
 - ・記憶力、集中力が低下する
 - ・身体を動かすと息が切れるなど



*CPAP=ContinuousPositiveAirwayPressureの略